

宇佐美誠次郎 ウサメマキマ 經濟學者。大正四年一月二十一日東京生れ（一九

一五）。昭和十一年東京帝國大學經濟學部卒。東洋文化研究所研究員

を経て、二十二年法政大學教授。のち大原社會問題研究所所長、日本

ドイツ民主共和國友好協會會長。

譯著書、ウイットフオーゲル著『支那社會の科學的研究』（平野義太

郎共譯、昭和十四年四月、二十五日岩波書店「岩波新書」）、『歴史家

は天皇制をどう見るか』（井上清鈴木正四合著、歴史叢書研究會編、昭和

二十一年九月一日新生社。再刊、二十四年四月一日法政大學出版局）、

『岩波おける日本資本主義の構造』（井上晴丸共著、昭和二十六年十一月

十日岩波書店）等。